



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

配布先: 文部科学記者会、科学記者会、名古屋教育記者会

2026 年 10 月 14 日

報道機関 各位

他者の評価を気にしないほうが尊敬される 評価への態度自体が「有能さ」を判断する手がかりになる可能性

【本研究のポイント】

- ・私たちはしばしば、周囲からよく思われようとして他者の評価を気にしながら行動をする。
- ・しかし、他者の評価を気にする態度自体がどう評価されるのかは不明であった。
- ・本研究では、他者の評価を気にしない人物の方が、より有能に見えて尊敬されることが分かった。
- ・他者の評価を気にするかどうかという態度そのものが、周囲の人にとって、その人物の能力を推し量る手がかりになることが示された。

【研究概要】

名古屋大学大学院情報学研究科の孟 憲巍(もう けんい)准教授と、同研究科の黄少君(こう しょうぐん)博士後期課程学生、水野 佑佳 博士前期課程学生、尾野 有起良 博士後期課程学生による研究グループは、他者の評価を気にしない人物が、気にする人物よりも「有能で、尊敬に値する」と評価されることを、日本で募集した成人を対象とする調査で示しました。

研究では、自分について事実無根のうわさが同僚の間で広まったとき、周囲の評価を気にして説明しようとする人物と、評価を気にせず説明しない人物への印象を複数の側面で比較しました。その結果、後者の人物がより尊敬に値すると評価されました。さらに、この尊敬の評価には、その人物が「有能に見える」ことが関わっている可能性が示されました。

ただし、何でも気にしなければ有能に見えるわけではありません。お金をなくした場面を用いた別の調査では、損失を気にする人物の方が、気にしない人物よりも有能で、尊敬に値すると評価されました。

この結果は、他者の評価を気にするかどうかという態度そのものが、周囲の人にとって、その人物の能力を推し量る手がかりになることを示しています。本研究成果は、2026 年 10 月 11 日付で国際査読誌『The Journal of Social Psychology』に掲載されました。

他者の評価を気にしない人のほうが より有能に見える



周囲の評価への態度が、有能さの印象と尊敬に結びつく

研究のイメージ図 (AI生成)

研究のイメージ図 (AI 生成)

【研究背景】

周囲からよく思われたい、悪い評判を避けたい。こうした思いは、日々の行動を左右しますが、他者の評価を気にする程度は人によって異なります。これまでの心理学研究では、人が社会的な評価を高めるためにどう振る舞うかが調べられてきました。しかし、「他者の評価をどの程度気にするか」という態度自体を、周囲がどう受け止めるのかは、十分に分かっていませんでした。

私たちは、個人の言動から、その人の能力を推し量ることがあります。研究グループは、その個人がもつ他者からの評価への態度も、その人の能力を推測する際の手がかりになると考えました。理論的な基盤となる「シグナリング理論」では、ある言動に伴う負担やリスクが、その人の能力や特性によって異なるとき、その言動が、直接は見えない能力や特性を推測する手がかりになり得ると考えます。

例えば、事実無根のうわさが流れても説明しない態度には、誤解されたまま評価が下がるリスクがあります。ただし、能力の高い人であれば、印象を積極的に管理しなくても、仕事の成果などで評価を上げられるかもしれません。一方、成果で評価を上げることが難しい人には、より大きな不利益となる可能性があります。この違いを前提とすると、周囲の人は、評価を気にしない態度を「能力に裏付けられた余裕」の表れと受け取り、その人物を有能で、尊敬に値すると判断する可能性があります。

一方で、評価を気にしない態度は、「向上心がない」「根拠なく自信を持っている」と受け取られ、評価を下げる可能性もあります。そこで研究グループは、他者の評価を気にする人物と気にしない人物への印象を比較し、その態度が有能さや尊敬の評価にどう結びつくのかを検討しました。

【研究内容】

本研究では、文章に登場する人物への印象を比較する二つの調査を行いました。いずれも、予定する参加人数や募集方法、仮説、分析方法などを、データ収集前に登録しました。この「事前登録」という手続きによって、結果を見た後で仮説や分析方法を都合よく変更する余地を減らし、研究の透明性を高めています。

調査1:他者の評価を気にしない人物はどう見られるか

日本のクラウドソーシングサービスを通じて成人を募集し、360人の回答を分析しました。参加者は、職場で自分について事実無根のうわさが流れた人物について、いずれかの文章を読みました。一方の文章では、周囲からどう思われるかを心配し、自分の評判を守るために説明しようとする「評価を気にする人物」を描きました。もう一方の文章では、周囲の評価をそれほど重要だとは考えず、うわさを気に留めずに説明しない「評価を気にしない人物」を描きました。

登場人物の性別や表現の異なる文章も用意し、参加者がどの文章を読むかは無作為に決めました。シナリオの全文は、論文の補足資料に掲載しています。

参加者には、登場人物をどの程度尊敬する^{注1)}か、どの程度有能だと思う^{注2)}か、どの程度自立性を持っていると思うか、どの程度周囲を支配しようとすると思うかを回答してもらいました。

参加者と登場人物の性別、参加者自身が他者の評価を気にする程度を考慮した統計分析の結果、他者の評価を気にしない人物は、気にする人物に比べて、より有能で、尊敬に値すると評価されました(図1)。

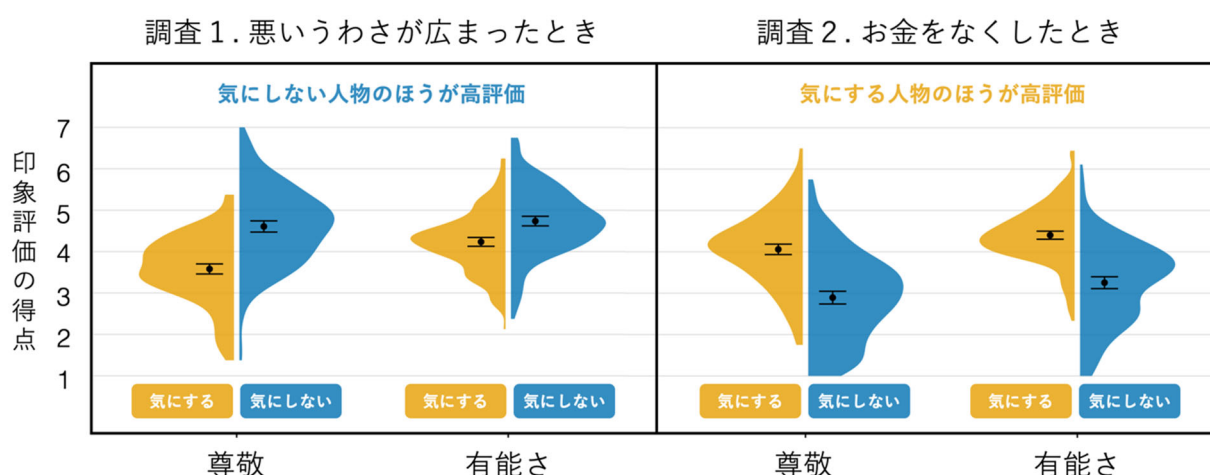


図1. 「気にしない」態度への評価は、何を気にしないかで変わる。黒い点は平均値、上下の線は95%信頼区間、色の付いた形は回答の分布を示す。測定した指標のうち、尊敬と有能さの結果を掲載している。

さらに、尊敬の高さにどのような印象が関わるのかを媒介分析^{注3)}で検討しました。有能さ、自立性、他者を支配しようとする傾向についての印象を同時に検討したところ、評価を気にしない態度と尊敬の高さを結び付ける統計的な関連は、有能さの印象を通じたものが最も大きいことが分かりました。この結果は、評価を気にしない人物が「有能に見える」ことが、その人物への尊敬につながるという説明を支持しています。ただし、この分析だけで「有能だと思うから尊敬する」という因果の順序が確定したわけではありません。

調査 2:何でも気にしなければ有能に見られるか

調査 1 の結果は、単に「何事にも動じない人」が高く評価されることを意味するのでしょうか。これを検討するため、調査 2 では、お金をなくした場面に置き換えて調査を行い、367 人の回答を分析しました。

参加者は、お金をなくしたことを心配して探そうとする人物、または、なくしても気にせず探さない人物のいずれかについて読みました。その後、調査 1 と同じように、人物への印象を評価しました。

結果は調査 1 と逆でした。お金の損失を気にする人物の方が、気にしない人物よりも有能で、尊敬に値すると評価されたのです(図1)。この結果は、気にしない態度が常に好印象につながるわけではなく、「何を気にしないのか」によって、周囲の受け止め方が異なることを示しています。

【成果の意義】

評判への態度そのものが、能力を判断する手がかりになる

本研究は、「他者の評価をどの程度気にするか」という態度そのものが、有能さや尊敬の評価に関わることを示しました。今回分かったのは、評価を気にしない人の能力が実際に高いということではなく、その態度が「有能さ」の表れとして受け取られる可能性です。この知見は、職場などで人物を評価する際に、態度から受ける印象と実際の能力を区別して考える手がかりになります。

ただし、お金の損失では逆の結果となり、「何を気にしないか」によって評価は異なりました。今後は、実際の対人場面や異なる文化でも同様の結果が得られるかを検討する必要があります。今回の研究は、うわさを無視することを一律に勧める結果ではありません。

【用語説明】

注 1) 尊敬の評価:

その人物を敬い、尊重する気持ち。本研究では、「A さんを尊敬する」「A さんのようになりたいか」と思っている(この項目は得点を逆転して集計)などの項目を用いて測定した。

注 2) 有能さの評価:

その人物が、仕事や課題を適切に遂行する能力や知識を持っているという印象。「A さんは有能である」「A さんは仕事を効率よくできる」などの項目を用いて測定した。実際の能力ではなく、周囲から見た有能さを表す。

注 3) 媒介分析:

ある条件と結果の関係を、別の要因を通じた関連として統計的に検討する方法。本研究では、評判への態度と尊敬の係に、有能さの印象などがどう関わるかを調べました。分析結果だけで心理過程の因果の順序を確定することはできない。

【論文情報】

雑誌名: The Journal of Social Psychology

論文タイトル: Less Care, More Respect: Low Concern About Social Evaluation Signals Competence

著者: Xianwei Meng, Shaojun Huang, Yuka Mizuno, Akira Ono

Press Release

DOI: 10.1080/00224545.2026.2743912

URL: <https://doi.org/10.1080/00224545.2026.2743912>



東海国立大学機構は、岐阜大学と名古屋大学を運営する国立大学法人です。
国際的な競争力向上と地域創生への貢献を両輪とした発展を目指します。

東海国立大学機構 HP <https://www.thers.ac.jp/>

